

参加総人数 116 名 (学内 64 名・学外 52 名) アンケート総回答数 111 名

【学内編】 アンケート回答数 61 名

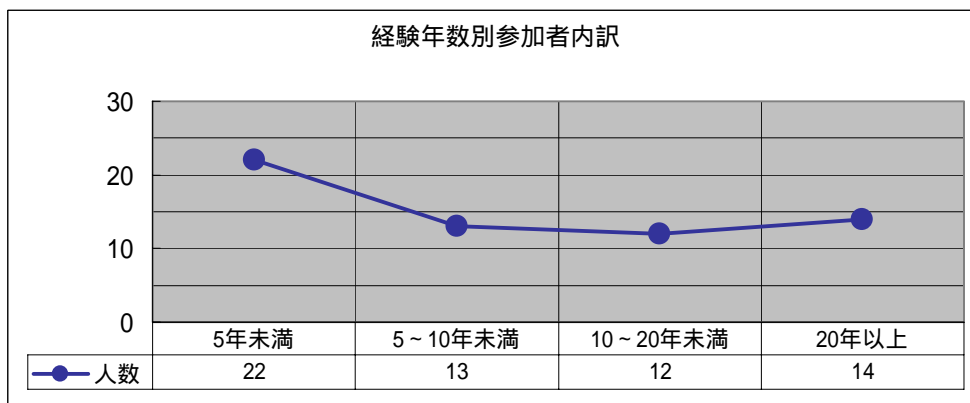
<あなた自身について>

所属の図書館・室についてお尋ねします。

- 1. 文系 (5 人未満) 7 名
- 2. 文系 (5 人以上) 43 名
- 3. 理系 (5 人未満) 10 名
- 4. 理系 (5 人以上) 1 名

図書館員としての経験年数は何年ですか。

- 1. 【5 年未満】 22 名
- 2. 【5 年～10 年未満】 13 名
- 3. 【10 年～20 年未満】 12 名
- 4. 【20 年以上】 14 名



現在おもに従事している業務を、以下からひとつだけご回答ください。

* 目録業務を含む複数の業務を担当されている場合は、1 を選択してください。

1 を選択された場合は、経験年数もご記入ください。

- | | | | |
|--|--------------|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 目録業務 18 名 2. 受入業務 20 名 3. サービス業務 4 名 4. 全般・その他 18 名 5. 回答なし 1 名 | 目録業務
経験年数 | { | <ul style="list-style-type: none"> 1 年未満 1 名 1～5 年 8 名 6～10 年 4 名 11 年以上 5 名 |
|--|--------------|---|--|

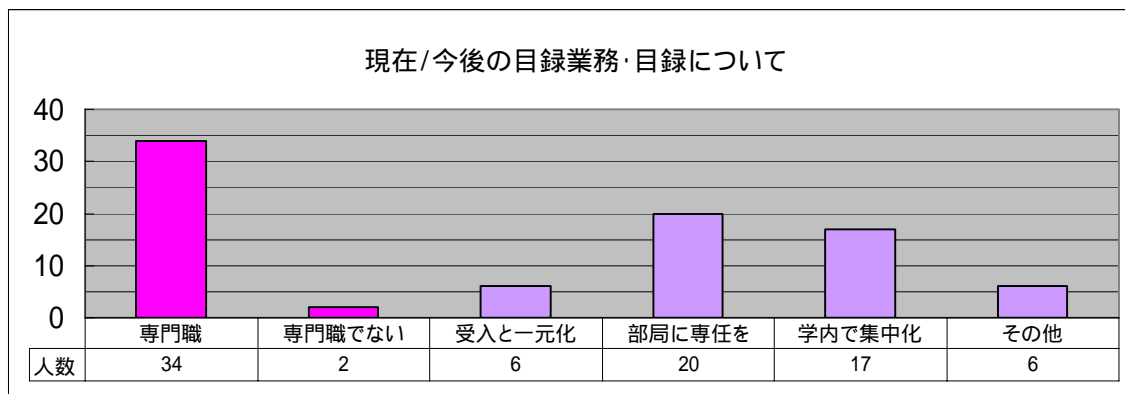
< あなたの職場の目録業務の現状・今後の目録業務のあり方について >

あなたの職場の目録業務の現状について、実態に近いものをひとつだけご回答ください。

1. 正職員がいる（目録専任）	33 名
2. 正職員がいる（兼任）	18 名
3. 非常勤職員のみ（目録専任）	1 名
4. 非常勤職員のみ（兼任）	5 名
5. その他	2 名
6. 回答なし	2 名

現在/今後の目録業務・目録について、どう感じますか。（複数選択可）

1. 目録業務は専門職である	34 名
2. 目録業務は専門職とは感じない	2 名
3. 受入業務と一元化・統合すべき（した）	6 名
4. 各部局ごとに目録専任スタッフを配置すべき	20 名
5. 学内レベルで目録業務の集中化を進めるべき	17 名
6. その他	6 名

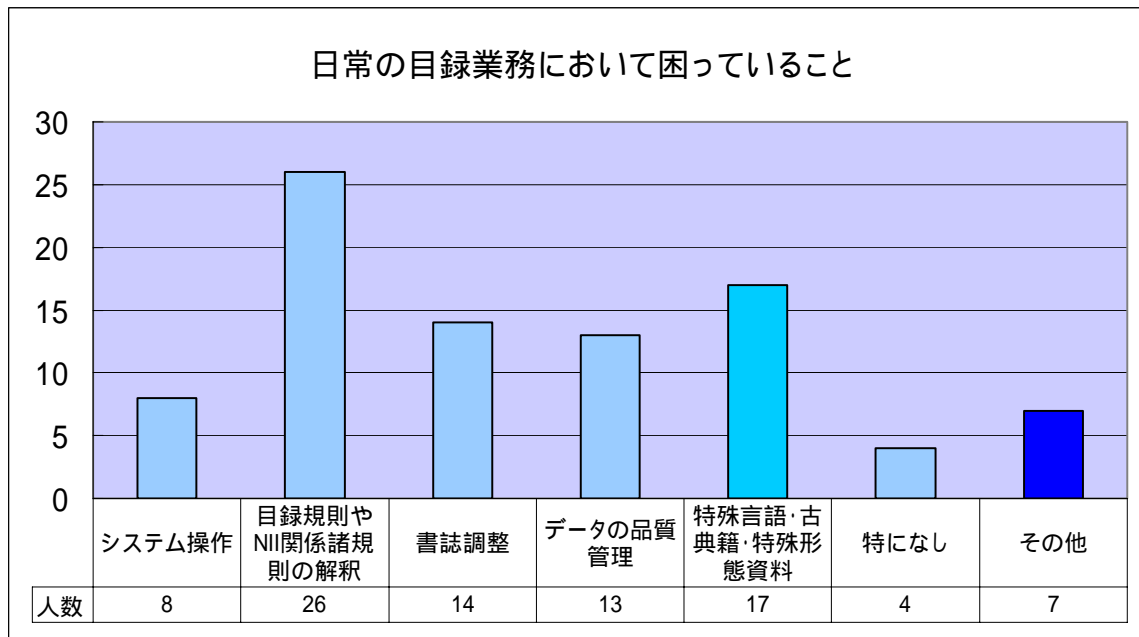


6. その他 の意見

- ・ 目録の質をどの程度に置くかによって、スタッフの内訳も変わって良いのかもしれない
- ・ 少数でも目録専門性を持った人は必要と思うし、育てる必要もあると思う
- ・ 1 と 5 を選ぶ矛盾も感じますが、人的コストを下げて品質を維持するという意味で選びました
- ・ 一人職場での目録作成は無理があると思いますが、かと言って集中化すれば全て解決するのかどうか疑問です

日常の目録業務において、困っていること・問題点はありますか。(複数選択可)

1. システム操作	8 名
2. 目録基礎や NII 関係諸規則の解釈	26 名
3. 書誌調整	14 名
4. データの品質管理	13 名
5. 特殊言語・古典籍・特殊形態資料の目録作成	17 名
6. 特になし	4 名
7. その他	7 名



5. 特殊言語・古典籍・特殊形態資料の目録作成 で特に

- ・ 少数民族言語の目録作成者が見つけれられないこと・特殊言語
- ・ 和古典籍
- ・ EJ (電子ジャーナル) の目録・雑誌の目録
- ・ 漢籍・中国書・ロシア語
- ・ ハングル文字などの書誌作成・厚生労働科研費の報告書類 NII に相談したらさじをなげられたことがあるので、大変困った

7. その他 の意見

- ・ 分類規程
- ・ 設置前段階につき不明
- ・ 遡及のデータの品質の低下はひどいと思います。しかしひどいと思っているのは図書館職員だけで、利用者はあまり困っていないのが、今の図書館カタログ界の問題かも知れませんね
- ・ じっくり NCR・AACR・CM を読む時間がない

< 本日の講演会について >

本日の講演会の理解度は如何でしたか。

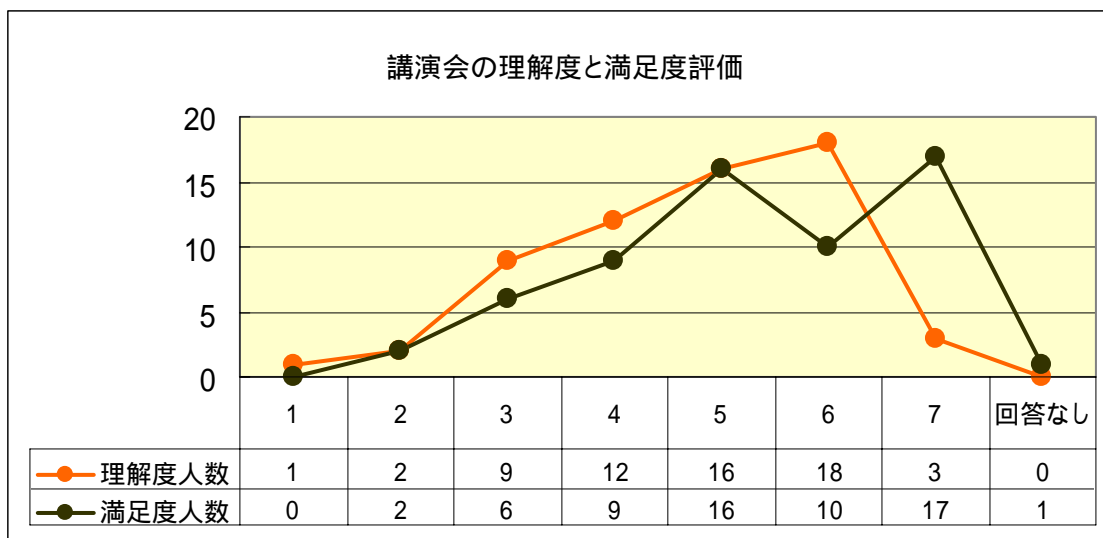
理解度	1	1 名
	2	2 名
	3	9 名
	4	12 名
	5	16 名
	6	18 名
高	7	3 名

【理解度平均値】 4.7

本日の講演会の満足度は如何でしたか。

満足度	1	0 名
	2	2 名
	3	6 名
	4	9 名
	5	16 名
	6	10 名
高	7	17 名
	回答なし	1 名

【満足度平均値】 5.3



本日の講演会の内容についてご意見・ご感想があればご自由にお書き下さい。

- ・ インターネットの発達などの環境変化に合わせて目録もまた変わっていく必要があるのだとわかり、とても興味深かったです。
- ・ リプレイスと RDA の関わりはどうか?(NII も含め) RDA の案が出ているなら、何か対応の動きがあるのか
- ・ 目録の世界の最新情報を知ることが出来て興味深かったです
- ・ FRBR・RDA について知りたかったので、面白く聴かせて頂きました。
- ・ 現在目録をメインの仕事にしていなくて自己研修をおこたりがちになっており、こういう機会に現状について教えていただけて、とても勉強になりました。講師の先生、及びスタッフの皆様ありがとうございました。
- ・ FRBR など、今後の変化、考え方の変化というものに時の流れを深く感じ、これら

の情報を得ることの大切さを思いました

- ・ いかんせん、こちらの知識が乏しく、難しい用語は理解できないことも多かったのですが「目録」の今日的問題の所在がよく見えてきました。理解のほどはともかく、今後業務を進める（受入ですが）上での有効な目安となりそうです。
- ・ FRBR など、今後の変化、考え方の変化というものに時の流れを深く感じ、これらの情報を得ることの大切さを思いました。
- ・ 講演会として非常に練られた内容だったと思います。講師の方の、研究対象への視点、取り組み方など、同じ司書であった方だけに学ぶところが多かったです。とくにアメリカの最新動向をキャッチしておられるので、演題にふさわしいお話でした。欲を言えば、日本の目録の展望などもお聞きできるとよかったです。
- ・ 目録の第一人者である渡邊先生に、国際的な目録・目録規則の動向を紹介、解説いただき、とても参考になりました。ありがとうございました。米国あるいは IFLA 等の動向が、数年後には日本にも浸透するでしょうし、多くの図書館職員に参考になるお話であったと思います。
- ・ 経験が浅いうえに勉強不足のために理解できない部分が多かったです。
- ・ AACR の現在の状況について知ることができてよかったです（勉強不足でした）。
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ OPAC をシステムのパッケージからきりはなすという(が)納得のいく話でした。目録業務の将来を考えなくてはと思いました。おもしろい講演会でした。ありがとうございました。
- ・ まず現行の目録規則についてしっかり認識を持たねば、と勉強不足を痛感しました。
- ・ 分かりやすく、ためになったが業務におわれてなかなか情報収集するのがむずかしい中、短時間で動向を聞くことができてよかったと思う。
- ・ 非常に興味深い内容で、大変勉強になりました。日頃の業務の中でも難しいと思うことが多い目録業務ですが、奥の深い業務ということがわかったので、がんばって取り組んでいこうと思います。
- ・ テクニカルタームの理解が私自身不足でした。
- ・ 目録についてだけでなく、OPAC を視野に入れた講義で非常に参考になりました。
- ・ 普段は受入業務に携わっているので、目録業務の問題点という観点から考えることはとても難しいです。何が長所であり、短所でありということが、もう少し、自分の中で理解できていたらよかったなと思います。これから様々なことを自分でも勉強していくことになるとは思いますが、内容の変化の速さについていくのは本当に大変ことだと実感しました。
- ・ ここ約 10 年にネットの普及によって図書館の資料などさまがわりしたと思います。正直今までの目録法が参考にならないこともあるなと思ってましたが、今日のお話はとても興味深かったです。

- ・ 正直これだけ現実が変化しているので、AACR2 も変化しないといけないのですが、これだけ変わるとは驚きました。私は 1994～目録中心の仕事をしてきましたが、ここ数年働く環境も変わってきていますが、その中で目録の維持を保つようにがんばっていきたくと思いました。
- ・ 少し難しかったですが、概要はつかめたように思います。
- ・ 後半、FRBR,RDA の話をもっと詳しく知りたかった。
- ・ 普段ほとんど目録業務ができていないので、状況把握にとまどいました。
- ・ あまりクリアーに理解できなかつたので、もっと知るためにもうすこし初心者レベルの研修があればと思いました。
- ・ 現在一番新しい草案までおしえていただいて、本当にためになりました。
- ・ まだ新人なので、私にとっては難しすぎました。
- ・ 欧米の動向にも目配りする必要を感じた。
- ・ 質の高い講演会でした。最新の目録規則の動向について、たとえ自分で情報にアクセスすることができたとしても整理・系統だった理解は難しいので、このような講演はとても有意義だと思いました。欲を言えば、現状と将来像に加えて講師ご自身の考える目録のあり方を示していただきたいと思いました。

<その他>

今後希望する講演会・研修等、その他ご意見があればご自由にお書き下さい。

- ・ 和古典籍の目録作成について。
- ・ 教育基本法の改正と図書館の関係・業務の委託、派遣、指定管理職制度について、など。
- ・ 目録の基礎もよく知らないので、今日の講演会のお話もよく理解することができませんでした。目録の基礎中の基礎から学べるような研修があれば、少しずつでも勉強できるのにとおもいます。
- ・ 経験が少ないので、実務的な研修の開催をお願いしたいです。
- ・ 受入業務についてのお話が聞きたい
- ・ いろいろな考え方があると思うので、どのような講演会や研修でも企画して下されば、是非参加したいとおもいます。

参加総人数 116 名 (学内 64 名・学外 52 名) アンケート総回答数 111 名

【学外編】 アンケート回答数 50 名

<あなた自身について>

所属の機関についてお尋ねします。

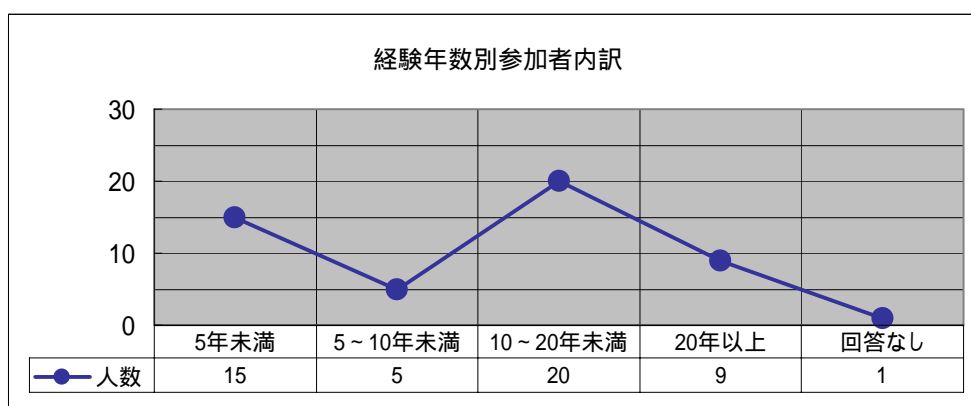
1. 国立大学	13 名 (26%)
2. 公立大学	1 名 (2%)
3. 私立大学	30 名 (60%)
4. その他	6 名 (12%)

図書館・室の規模についてお尋ねします。

1. 【5 名未満】	4 名
2. 【5 名～10 名未満】	10 名
3. 【10 名～20 名未満】	8 名
4. 【20 名以上】	28 名

図書館員としての経験年数は何年ですか。

1. 【5 年未満】	15 名
2. 【5 年～10 年未満】	5 名
3. 【10 年～20 年未満】	20 名
4. 【20 年以上】	9 名
回答なし	1 名



現在おもに從事している業務を、以下からひとつだけご回答ください。

* 目録業務を含む複数の業務を担当されている場合は、1 を選択してください。

1 を選択された場合は、経験年数もご記入ください。

1. 目録業務	37 名	目録業務 経験年数	1 年未満	2 名
2. 受入業務	1 名		1～5 年	15 名
3. サービス業務	3 名		6～10 年	13 名
4. 全般・その他	9 名		11 年以上	5 名
			回答なし	2 名

< あなたの職場の目録業務の現状・今後の目録業務のあり方について >

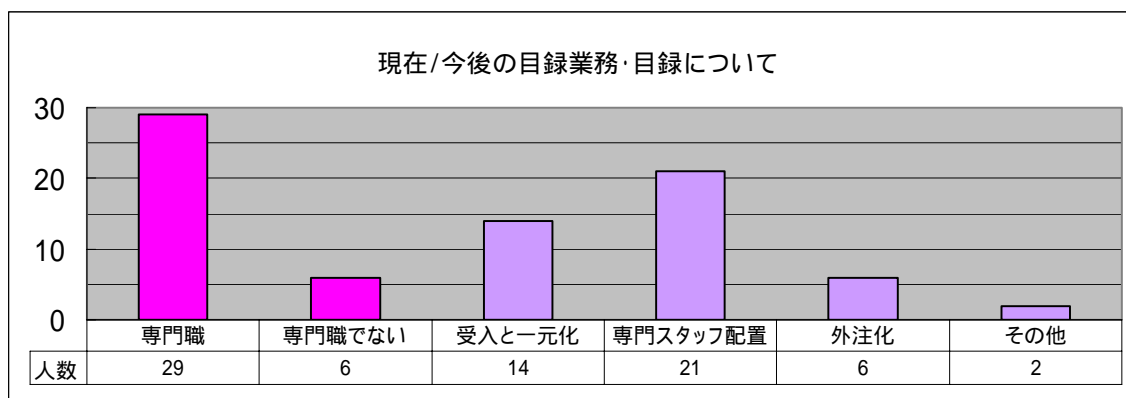
あなたの職場の目録業務の現状について、実態に近いものをひとつだけご回答ください。

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 正職員がいる（目録専任） | 21 名 |
| 2. 正職員がいる（兼任） | 22 名 |
| 3. 非常勤職員のみ（目録専任） | 0 名 |
| 4. 非常勤職員のみ（兼任） | 0 名 |
| 5. 完全外注（派遣含む）・職員は管理業務のみ | 5 名（私:2、他:3） |
| 6. その他 | 2 名 |

- ・ 基本的に完全外注だが、外注の維持・管理、ノウハウの継承のため、5%は正職員が担当している。
- ・ 一部委託

現在/今後の目録業務・目録について、どう感じますか。（複数選択可）

- | | | |
|-----------------------|------|----------------|
| 1. 目録業務は専門職である | 29 名 | （国:5,私:20,他:4） |
| 2. 目録業務は専門職とは感じない | 6 名 | （国:1,私:4,他:1） |
| 3. 受入業務と一元化・統合すべき（した） | 14 名 | |
| 4. 専門スタッフを配置すべき | 21 名 | |
| 5. 外注化を進めるべき | 6 名 | （私:5,他:1） |
| 6. その他 | 2 名 | |

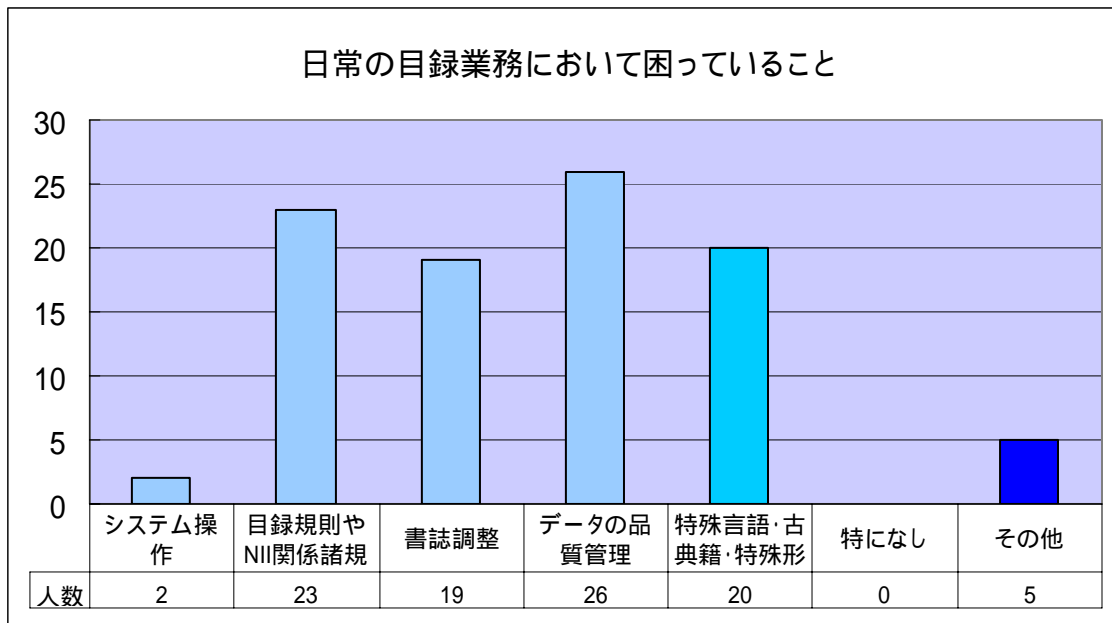


6. その他 の意見

- ・ 外注を進めるべきだが、一部、専任が習得して継承すべき。
- ・ わからない。しかし、本質的な是非論とは別に、このまま業務者の削減が進行すれば、現実的な妥協点が出てくるであろう。

日常の目録業務において、困っていること・問題点はありませんか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------------|------|
| 1. システム操作 | 2 名 |
| 2. 目録基礎や NII 関係諸規則の解釈 | 23 名 |
| 3. 書誌調整 | 19 名 |
| 4. データの品質管理 | 26 名 |
| 5. 特殊言語・古典籍・特殊形態資料の目録作成 | 20 名 |
| 6. 特になし | 0 名 |
| 7. その他 | 5 名 |



5. 特殊言語・古典籍・特殊形態資料の目録作成 で特に

- ・ 古典籍・西洋古典籍資料・和漢古書の目録作成
- ・ 洋書(古典資料の整理する担当が私以外出来ない)
- ・ アラビア語・特殊言語
- ・ 参照ファイルから流用できない場合の新規作成
- ・ 昨年に目録をしていましたが、古い本に対しての書誌があいまいで、困った。

7. その他 の意見

- ・ 未経験の方への整理業務の指導、引継ぎ等
- ・ 全学の整理を行ううえで、各部科の担当者の非専任化により、能力が低下しており、データの不備が生じている。現在、組織の見直しを検討中。
- ・ 目録業務のできる職員が減りつつある。
- ・ ローカルルールの繁雑さ。人によって、どうとも言える世界で意見をまとめるのが難しい。

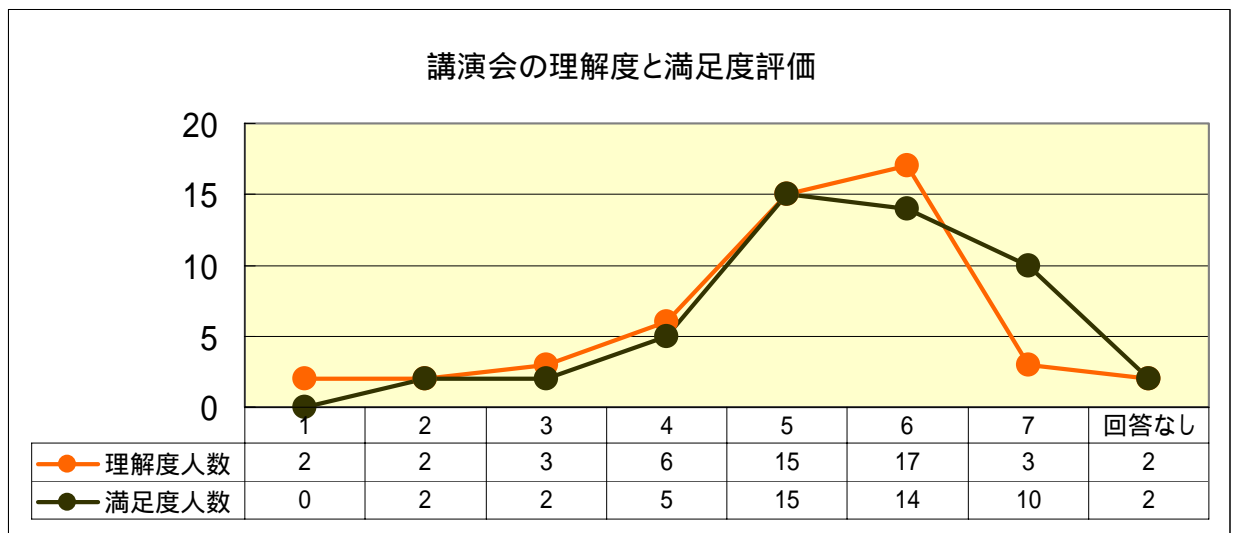
< 本日の講演会について >

本日の講演会の理解度は如何でしたか。本日の講演会の満足度は如何でしたか。

理解度	1	2名	満足度	1	0名
	2	2名		2	2名
	3	3名		3	2名
	4	6名		4	5名
	5	15名		5	15名
	6	17名		6	14名
↓	7	3名	↓	7	10名
高			高		
	回答なし	2名		回答なし	2名

【理解度平均値】 4.9

【満足度平均値】 5.4



本日の講演会の内容についてご意見・ご感想があればご自由にお書き下さい。

- ・ 時間が少し短かったです。
- ・ よく内容がわかって、よかったですと思います。
- ・ 英単語が多く、具体的にイメージするのが難しかったです。
- ・ 不勉強で、用語の英単語の意味など説明してくださっているのに、ついていけないところがあり、もう少し詳しく教えてもらいたいところがありました。
- ・ 日々の業務に流されて、世界的、将来的な動向にまで、目を向けられていなかった。今回、この講演会に出席させていただき、今、どのようなことが議論されていて、今後どのように変わっていくのかを知ることができ、勉強になった。自館の目録、OPAC 構築について考えるきっかけにしたいと思います。
- ・ 最初のほうのカルホーンレポートの話は興味深かったので、もう少し内容について聞き

たかったです。FRBR の話は、概念が抽象的で少し理解しにくかったです。

- ・ 全体的な流れがわかりやすく説明されており、参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 経験の少ない人間にも分かりやすいお話しでした。特に、FRBR について、混乱していた点、整理できました。
- ・ FRBR、RDA など名前は聞いたことがあっても、系統立てての理解ができていなかったもので、とても勉強になりました。
- ・ 外国での動向のお話しで、ピンと来ない、理解が及ばないことが多かったのですが、こういうお話しも知るといことは勉強になりました。
- ・ なかなか追うことができていない目録規則の動向について、丁寧に話していただき、ありがとうございました。目録を図書館の重要な業務として、今後も位置づけていくなれば、現行の管理主体の整理業務を全面的に見直さなければならないのではないかと、という気持ちを強くもちました。
- ・ 目録・目録規則について整理をすることができました。参考文献も書かれているので、今後の参考にしたいと思います。
- ・ 電子化資料の刊行の増加やメディアの急激な変化などが進む中、メタデータを含めて、新しい目録のあり方に強い関心をもっています。FRBR の考え方に頭を慣れさせることも必要ですが、今回のご講演は全体の大きな流れが見える俯瞰的なお話で、興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。
- ・ FRBR や RDA について、改訂作業中の生の情報を伺うことができて、大変有意義な時間でした。インターネット社会の現在、図書館をめぐる現状は厳しいものですが、図書館にしかできないサービスを大事にしていきたいと思います。
- ・ OPAC の ILS からの自律という視点には興味がありました。
- ・ 雑誌を読んでいるだけでは、わかりにくかった部分が理解できて良かった。
- ・ 目録・目録規則のレビューと同時に、現在の業務の場面を結びつつ、今後も展望できる意義のある講演でした。
- ・ 話が少し大きくて、とまどいました。目録業務に携わるようになって日が浅いので、少し難しかったです。少し勉強しようと思いました。
- ・ 日頃の勉強不足のため、あまり分かりませんでした。目録についての議論が活発になっているということで、やはり皆、危機感をもっているんだなと思いました。
- ・ 日常業務の中で、目録をめぐる動向にまで気がまわっていませんでしたので、勉強になりました。
- ・ 今日まで自分を含む担当者数人の世界で仕事をしてきた。国際的な話をきいて、全く分からないこともありましたが、縮んでいたゴムを伸ばしてもらったような感があります。いろんな世界に目を向けたいと思います。
- ・ FRBR、RDA など、これまでよくわからなかったものが、お話をきいて、クリアにな

りました。たいへん勉強になりました。ありがとうございました。

- ・ 興味深い内容でした。ただ最終に話された「京都大学さんのような大きい大学…」のくだりですが(たぶん、そういう意味合いで言われたのではないと思うのですが)(同じ)大学図書館員であっても、自分のところのような小規模の大学図書館と、「大きい大学図書館」とでは、期待される内容も実力も、どんどん差がつくようで、複雑な気持ちです。

<その他>

今後希望する講演会・研修等、その他ご意見があればご自由にお書き下さい。

- ・ 小規模館に所属していると、なかなか研修等の機会がないので、どんどん他館にも門戸を開いていただけるとありがたいです。
- ・ WEB サービス、機関リポジトリ
- ・ ポータルサイト etc.の今後のあり方
- ・ 休憩時間がほしいです。
- ・ 図書館活動評価手法
- ・ 目録についての講演会、研修を増やしてほしい。